

目 次

[道路交通法 関係]

- 1 道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令案を検討／警察庁
- 2 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正を検討／警察庁等
- 3 自転車の車道通行原則を知らない者が4割／内閣府
- 4 上半期の交通事故発生状況／警察庁
- 5 生活道路での最高速度は30km/hに／警察庁

[交通安全対策 関係]

- 1 世界の交通事故死者数、年間130万人／世界保健機構(WHO)
- 2 子供用シートベルトの出荷が11%減少／日本自動車部品工業会

[道路・施設 関係]

- 1 SAに急速充電システム設置／中日本高速道路

[道路運送車両 関係]

- 1 次世代型エンジンは燃費30%改善／スクデリ社(米国)
- 2 ランフラットタイヤの市販開始／(株)ブリヂストン
- 3 電動自転車等の販売が急増／本田技研工業(株)
- 4 自動車灯火類調査を発表／東京都自動車整備振興会
- 5 タイヤの溝の役割を知らない人が3割／(株)ブリヂストン

[自動車損害賠償保障 関係]

- 1 新型の自動車保険を発売／東京海上日動火災保険(株)

[道路運送 関係]

[軌道・踏切 関係]

[その他トピックス]

- 1 自動車盗難事故実態調査を発表／(社)日本損害保険協会
- 2 被災地3県の高速事故が増加／東日本高速道路
- 3 第11回・全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会が開催／本田技研工業(株)

[道路交通法 関係]

1 道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令案を検討／警察庁

警察庁では、このたび聴覚障害者が運転できる車両の種類を、現在の普通乗用自動車から、すべての普通自動車と自動二輪車等にまで、拡大すること等を含む「道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令案」を公表しました。

これは、過去2年にわたって実施した聴覚障害者の調査研究の結果、運転できる車両の種類を拡大するもので、大型自動二輪車、普通自動二輪車、小型特殊自動車、原動機付自転車にも拡大されることになりました。

このほかにも、矢印信号に関する規定の整備も行われ、右折を可能とする青色の矢印信号が標示されている場合は、右折に加えて、転回もできる（転回禁止交差点以外）ことになるようです。

また、信号機の信号の対象を限定する、標示の寸法の変更も行われることが、公表されました。現在、施行期日は平成24年4月1日（一部を除く）を予定しています。

2 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正を検討／警察庁等

警察庁、国土交通省では、このたび自転車道等の自転車通行環境を整えるために、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の、一部改正について検討しています。

これは自転車の通行において、行き違いによる事故の危険性を減少させるとともに、歩道や自転車道における、自転車の通行を秩序化することを内容としたもので、いわゆる自転車が一方通行となる規制標識を新設するものです。

自転車の無謀な運転が問題になっている中、交通規制が実施されることにより、交通事故の防止に役立つものとして、期待が寄せられています。

3 自転車の車道通行原則を知らない者が4割／内閣府

平成23年版「交通安全白書」が閣議決定されましたが、この中で取り上げられた自転車交通アンケートにおいて、自転車は本来、車道通行が原則というルールを、知らない者が約40%もいたことが分かりました。

内閣府がインターネットを通じて、全国18歳以上の男女2,000人から回答を得た中で、原則として「自転車歩道通行可の標識が無い歩道は、通行してはいけない」というルールを、

- | | |
|---------|-------|
| ① 知っている | 59.7% |
| ② 知らない | 40.3% |

また、こうしたルールを

- ① いつも守っている 34.9%
- ② たまに守らないことがある 32.2%
- ③ しばしば守らないことがある 32.9%

という結果となったようです。

4 上半期の交通事故発生状況／警察庁

警察庁では、今年6月末現在（上半期）の「全国の交通事故発生状況」をまとめました。いずれも、減少傾向がみてとれます。

平成23年1月～6月末

	23年6月末	対前年比		22年6月末
		対前年比	対前年比	
事故件数	328,280件	-18,842件	-5.4%	347,122件
死者数	2,112人	-59人	-2.7%	2,171人
負傷者数	403,143人	-23,900人	-5.6%	427,043人
高齢者死者数	1,028人	-64人	-5.9%	1,092人
飲酒死亡事故件数	118件	-6件	-4.8%	124件

5 生活道路での最高速度は30km/hに／警察庁

「生活道路におけるゾーン対策推進調査研究検討委員会」（学識経験者・警察等で構成）では、このほど生活道路における、ゾーン内の自動車の通行規制を抑制する等を基本とする対策推進を、国家公安委員会に報告しました。

これによれば、

① ゾーンの設定方法

- 市街地等で生活道路対策の要望が寄せられている箇所など

② ゾーン内で実施する対策

- 道路は原則1車線の環境にて実施し、最高速度は30km/hなど

③ ゾーン入り口の明示方法

- 標識等により、最高速度の区域規制を明示し、路面にも速度30km/hを標示

④ ゾーン対策を実施する上での留意事項

- 運転者に対して、ゾーン対策の周知徹底をおこなう

等となっています。

今後、警察庁では、報告書を踏まえたゾーン対策の実施要領を策定して都道府県警察に示していくようです。

[交通安全対策 関係]

1 世界の交通事故死者数、年間130万人／世界保健機構（WHO）

世界保健機関（WHO）によれば、過去数年の統計では、世界の交通事故による死者数は、年間約130万人前後で推移しているものの、このまま対策を講じなければ、2020年頃には190万人に達するだろうとする統計を発表しました。

これによると、おもな交通死亡事故の原因は、自動車や二輪車の速度違反、飲酒運転などによるもので、これらが歩行者を巻き込む事故が46%に上っているようです。

地域別の交通事故死者数では、アフリカ・中東地区が最も多く、人口10万人当たり（2008年）に換算すると32.2人となり、最も少なかったのは、ヨーロッパの13.4人となっています。

世界保健機関では、今後10年かけて、加盟国に対して交通取締りの強化等を求めているキャンペーンを行う予定だそうです。

また、アジア開発銀行（2011年5月／ADB駐日代表事務所）によれば、アジア太平洋での交通事故死者数が、世界全体の6割に達するという統計発表もありました。

交通手段が限定されている貧困層には、ヘルメットやシートベルトの着用義務化などの対策ができれば、犠牲者の発生を食い止められることも考えられ、あわせて取り締まりや交通安全教育等の政策面での支援も、「交通安全のための行動の10年」に盛り込まれているようです。

2 子供用シートベルトの出荷が11%減少／日本自動車部品工業会

日本自動車部品工業会では、このたび2010年のチャイルドシートの出荷動向を発表しました。今回の調査は、チャイルドシートを製造している10社を対象に行ったもので、2010年1月～12月までの出荷台数を集計したものとなっています。

総出荷量は、2009年の125万1711台から、1116808台となり、11%減少と発表されました。これは2年連続で前年比マイナスとなり、後席シートベルト着用義務化にともなう波及効果が、薄れてきたことが影響したのではないかと、みられています。

シートベルト商品別での推移を見ると、

① 乳児用	前年比	-12%	10,966台
② 乳児・幼児兼用	前年比	+1%	493,612台
③ 幼児用	前年比	+13%	45,923台
④ 学童用	前年比	-24%	439,402台

となっています。

[道路・施設 関係]

1 SAに急速充電システム設置／中日本高速道路

中日本高速道路（NEXCO中日本）では、このたび東名高速道路でのすべてのサービスエリア（SA）に、電気自動車（EV）用急速充電システムを設置し、3月末から運用開始したことを発表しました。

15か所のサービスエリアに完備されたことにより、50^{km}から70^{km}の範囲内であれば、いつでも急速充電ができるようになったことで、東京から名古屋まで、電気自動車による連続走行が可能となりました。

急速充電システムを利用するには、あらかじめおサイフケータイかFeliCaカードへの事前登録（利用者カード）が必要となっているようです。1充電あたりの費用は、100円（税込）となっています。

www.c-nexco.co.jp/sapa/guide/i-stop.html

NEXCO中日本

[道路運送車両 関係]

1 次世代型エンジンは燃費30%改善／スクデリ社（米国）

米国のエンジン開発会社・スクデリ社 www.ScuderiEngine.com は、燃料消費が最大で30%を超える改善が、可能となる「スプリットサイクルエンジン」試作品を、東京モーターショー（23年11月開催）にて、日本で初公開するようです。

いわゆる4ストロークエンジンと異なり、スプリットサイクルエンジンは、吸入／圧縮工程と、燃焼／排気工程を別々のシリンダーでおこなうのが特徴で、電気駆動の組合せなしで、ハイブリット車に匹敵する、燃費改善率を確保できるようです。

スクデリ社は、将来的には自動車メーカーに、技術供与を考えているそうですが、開発された新エンジンに、どのような評価が下されるのか、注目を集めています。

2 ランフラットタイヤの市販開始／（株）ブリヂストン

ブリヂストンは、7月1日から、ランフラットタイヤ（Run flat tire）の市販を開始しました。

RFTタイヤは、通常のタイヤに比べて、パンクしても操縦機能が悪化せず、空気が抜

けた後でも、そのまま100 km程度の距離を走れるのが特徴です。

そのため通常タイヤでパンクした場合、操縦機能の不安定さから、急激な減速を余儀なくされるため、交通量の多い幹線道路・高速道路などにおいては、後続車に追突される危険性がありますが、RFTタイヤでは、追突などを回避できる利点があるようです。

さらに、パンクしてもタイヤ交換が必要ないため、スペアタイヤの搭載が不要になり、車両の軽量化による燃費の向上も期待できるようですが、今後、市販されるRFTタイヤの種類がさらに拡大すれば、タイヤ交換を苦手とするユーザーなどからの支持も、ますます大きくなるのが期待できるようです。

[\(www.bridgestone.co.jp/\)](http://www.bridgestone.co.jp/) ブリジストン

3 電動アシスト自転車等の販売が急増／本田技研工業（株）

東日本大震災のあと、電動アシスト自転車の需要が、2倍以上に跳ね上がっていることが分かりました。また、燃費の良い小型バイクの需要も増加しており、ホンダ・スーパーカブ（排気量50cc・1ℓ/100^キ走行）では、岩手・宮城・福島の3県だけで、1000台の受注があったようです。

震災被害県をはじめ、首都圏でも公共交通機関の混乱を受けて、通勤・通学用などに購入した人が増えているためと考えられていますが、ガソリンが不要か、もしくは燃費の良いものを選択する方向が、今後も定着していきそうです。

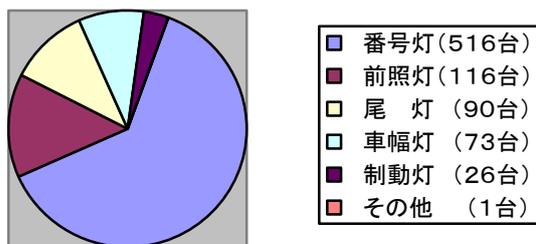
4 自動車灯火類調査を発表／東京都自動車整備振興会

東京都自動車整備振興会では、2010年6月から2011年3月にかけて、東京都内幹線道路において、夜間の灯火点灯状況を目視で行った結果を公表しました。

今年3月に実施された「入庫時灯火類異常調査」につづくもので、今回の調査対象としたのは、一般車両では10回、事業車両では5回にわけて実施されました。

内訳を表にまとめると、以下の通り。

灯火類異常内容（異常台数 822台）
東京都自動車整備振興会の統計による



今回の調査では、一般車両では約11,000台中638台（5.8%）に、事業用車では2,500台中184台（7.4%）に不具合が見られました。

事業用車でも旅客運送に関する車両（バス・タクシーなど）には異常が少なく、貨物車両（トラック・バンなど）に、多く見られたのが特徴のようです。

また、球切れを起こしている車両の大半が、白熱球式バルブだったようですが、事故を未然に防ぐ意味でも、定期的に点検を行う必要が求められているようです。

5 タイヤの溝の役割を知らない人が3割／（株）ブリヂストン

株式会社ブリヂストンでは、毎月8日を「ブリヂストン・タイヤセーフティの日」として、2011年3月から2012年2月までの1年間、毎月、タイヤの安全に関する情報を発信するようです。

6月8日の発表は、自家用車を所有して、月に1回以上運転をする男女1,000人に対して調査が行われ、雨の日に、約7割のドライバーが、スリップを経験している回答がありました。

タイヤには水をかき出す「溝」が刻まれて、排水という大事な役目を受け持っていますが、この役割を知らないドライバーが約3割（女性では約5割）にも、のぼることがわかりました。

また、7月8日の発表では、上記と同じ条件で調査が行なわれ、6割以上のドライバーが、縁石等にタイヤの側面を接触させた経験があると、回答しているようです。

タイヤの側面は、走行時、もっともたわみの激しい部分であることから、接触によるキズを放置していると、パンクやバーストといった重大なトラブルに繋がる危険性がありますが、ドライバーの4割が、パンクの原因になる可能性について、知らないことがわかりました。

www.bridgestone.co.jp/ ブリヂストン

[自動車損害賠償保障 関係]

1 新型の自動車保険を発売／東京海上日動火災保険（株）

東京海上日動火災保険は、このたび携帯電話からいつでも加入できる、1日単位型自動車運転者保険（1日自動車保険）を、発売すると発表しました。

この保険は、1日あたり500円の保険料で、必要な日数分だけ、自動車保険を契約できる新しい保険となっています。

予定では、2011年10月から、NTTドコモと共同で「ドコモ ワンタイム保険」として発売するようですが、2012年1月からは、東京海上日動火災保険が委託している、すべての保険代理店においても、販売を予定しているようです。

対象となる自動車は、運転者またはその配偶者以外の個人所有の自動車で、自家用普通・小型・軽四輪乗用車の3車種に限定されるようです。

無保険車による交通事故は、年間10万件以上とされておりますが、1日自動車保険が普及すれば、親や友人の車を運転する際に、手軽に加入でき、無保険車の事故縮減が期待できるとされています。

www.tokiomarine-nichido.co.jp 東京海上日動火災保険

[道路運送 関係]

[軌道・踏切 関係]

[その他トピックス]

1 自動車盗難事故実態調査を発表／ (社)日本損害保険協会

日本損害保険協会では、このたび自動車盗難事故実態調査の結果を発表しました。この調査は2000年以降、毎年実施しており、今回が12回目となりますが、自動車盗難(調査総数638件)では、4年連続でハイエースがワースト1位となり、ついでセルシオ、ランドクルーザーの順になったようです。

車上狙い(調査総数2,743件)では、カーナビが第1位(43.1%)で、以下、外装部品、バッグ類、金銭の順となっています。

車上狙いの被害が最も多かった車種は、プリウスが第1位でした。

www.sonpo.or.jp 日本損害保険協会

2 被災地3県の高速事故が増加／東日本高速道路

震災被害を受けた岩手、宮城、福島の前3県では、被災者を対象とした高速料金無料化が始まって以来、高速道路での交通事故が増加していることがわかりました。

県警高速隊によると、交通量が全体に増大した結果、追突事故・進路変更による事故が増加しており、被災証明書を提示する料金所では、対象車が一般レーンに並ぶため、渋滞して車列が本線車道にまであふれ、このままでは大惨事につながることも考えられると、心配されています。

今後の対策として、東日本高速道路(NEXCO東日本)では料金所での被災者証明書提示をスムーズに行えるよう、証明書や運転免許証をいっしょに入れるクリアファイルなどの配布を始めたほか、料金所の収受員の数を増やしたり、渋滞の発生しやすい朝夕には閉鎖レーンを開放するなどの対策を考えているようです。

3 全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会／本田技研工業（株）

第11回・全国自動車教習所教習指導員「安全運転競技大会」が、6月2日～3日、鈴鹿サーキット交通教育センターにて行われました。

今年から、全日本指定自動車教習所協会連合会の後援も決まり、教習指導員の安全運転指導力向上へ向けた、自己研鑽への動機づけとしても注目が集められています。

今年は、137人が参加登録を行い、競技の結果、以下の選手が表彰されました。

「普通二輪部門」（61人参加登録）

● 総合成績

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	20	安岡 丈仁	愛知	岡崎自動車学校	3662.0
2	49	久永 隆一	山口	早鞆自動車学校	3593.0
3	45	八嶋 康則	兵庫	東播自動車教習所	3583.0
4	54	三戸 哲也	山口	山口県萩自動車学校	3567.5
5	37	吉田 研悟	京都	宝池自動車教習所	3472.0
6	59	前田 貴紀	長崎	浦上自動車学校	3439.0

（向かって左から 大会運営委員長・千葉英雄氏、

1位／安岡氏・2位／久永氏・3位／八嶋氏・4位／三戸氏・5位／吉田氏・6位／前田氏）



撮影・平尾出版／久保田

「普通二輪部門」

● ブレーキング

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	5	澤村 一貴	東京	ラヴィ ドライビングスクール蒲田	1000.0
2	59	前田 貴紀	長崎	浦上自動車学校	990.0
3	27	小林 要一	静岡	浜名湖自動車学校	990.0
4	7	三橋 孝一	千葉	成田自動車教習所	985.0
5	30	脇坂 恭規	富山	滑川自動車学校	970.0
6	51	堺 亮太	山口	山口県湯田自動車学校	970.0

(向かって左二人目から、1位/澤村氏・2位/前田氏・3位/小林氏・4位/三橋氏・5位/脇坂氏・6位/堺氏)



撮影・平尾出版/久保田

「普通二輪部門」

● パイロンスラローム

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	12	小林 健二	長野	ドリームモータースクール 昭和校	1000.0
2	50	近崎 満紀	山口	光自動車学校	910.0
3	11	進藤 将尚	群馬	館林自動車教習所	910.0
4	20	安岡 丈仁	愛知	岡崎自動車学校	910.0
5	33	和田 一樹	滋賀	アヤハ水口自動車教習所	860.0
6	37	吉田 研悟	京都	宝池自動車教習所	860.0

(向かって左二人目から、1位/小林氏・2位/近崎氏・3位/進藤氏・4位/安岡氏・5位/和田氏・6位/吉田氏)



撮影・平尾出版/久保田

「普通二輪部門」

● コーススラローム

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	12	小林 健二	長野	ドリームモータースクール 昭和校	1000.0
2	50	近崎 満紀	山口	光 自動車学校	970.0
3	49	久永 隆一	山口	早 鞆 自動車学校	958.0
4	51	堺 亮太	山口	山口県湯田 自動車学校	952.0
5	59	前田 貴紀	長崎	浦 上 自動車学校	949.0
6	33	和田 一樹	滋賀	アヤハ水口 自動車教習所	946.0

(向かって左二人目から、1位/小林氏・2位/近崎氏・3位/久永氏・4位/堺氏・5位/前田氏・6位/和田氏)



撮影・平尾出版/久保田

「普通二輪部門」

● 一本橋

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	37	吉田 研悟	京都	宝池 自動車教習所	1000.0
2	17	芦沢 志保	山梨	湯村 自動車学校	1000.0
3	11	進藤 将尚	群馬	館林 自動車教習所	1000.0
4	49	久永 隆一	山口	早鞆 自動車学校	1000.0
5	34	森野 昌行	滋賀	近江八幡 自動車教習所	1000.0
6	21	水野 雅広	愛知	瀬戸 自動車学校	1000.0

(向かって左二人目から、1位/吉田氏・2位/芦沢氏・3位/進藤氏・4位/久永氏・5位/森野氏・6位/水野氏)



撮影・平尾出版/久保田

「大型二輪部門」

(28人参加登録)

● 大型二輪・総合成績

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	16	林 勇樹	滋賀	アヤハ水口 自動車教習所	3923.0
2	24	波田 昌之	山口	山口県萩 自動車学校	3844.0
3	17	松本 学	滋賀	アヤハ 自動車教習所	3724.5

(向かって左から、大会運営委員長・千葉英雄氏、1位/林氏・2位/波田氏・3位/松本氏)



撮影・平尾出版/久保田

「大型二輪部門」

● 大型二輪・ブレーキング

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	17	松本 学	滋賀	アヤハ 自動車教習所	1000.0
2	1	櫻澤 甲介	東京	新東京 自動車教習所	975.0
3	2	永井 基央	東京	尾久 自動車学校	970.0

(向かって左二人目から 1位/松本氏・2位/櫻澤氏・3位/永井氏)



撮影・平尾出版/久保田

「大型二輪部門」

● 大型二輪・パイロンスラローム

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	18	杉田 知	滋賀	滋賀県 自動車教習所	1000.0
2	16	林 勇樹	滋賀	アヤハ水口 自動車教習所	1000.0
3	22	山根 慎一	山口	光 自動車学校	980.0

((向かって左二人目から 1位/杉田氏・2位/林氏・3位/山根氏))



撮影・平尾出版/久保田

「大型二輪部門」

● 大型二輪・コーススラローム

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	22	山根 慎一	山口	光自動車学校	1000.0
2	24	波田 昌之	山口	山口県萩自動車学校	994.0
3	16	林 勇樹	滋賀	アヤハ水口自動車教習所	988.0

(向かって左二人目から 1位/山根氏・2位/波田氏・3位/林氏)



撮影・平尾出版/久保田

「大型二輪部門」

● 大型二輪・一本橋

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	16	林 勇樹	滋賀	アヤハ水口 自動車教習所	1000.0
2	3	古賀 文二郎	埼玉	レインボーモータースクール 和光	1000.0
3	27	栗之丸 吉朗	福岡	おんが 自動車学校	1000.0

(向かって左二人目から 1位/林氏・2位/古賀氏・3位/栗之丸氏)



撮影・平尾出版/久保田

「四輪部門」

(48人参加登録)

● 四輪部門総合成績

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	23	河端 淳史	滋賀	アヤハ 自動車教習所	3592.5
2	25	吉田 寿雄	京都	デルタ自動車四条 教習所	3445.5
3	26	大野 真博	京都	デルタ自動車四条 教習所	3077.0

(向かって左から、大会運営委員長・千葉英雄氏、1位/河端氏・2位/吉田氏・3位/大野氏)



撮影・平尾出版/久保田

「四輪部門」

● フィギア

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	23	河端 淳史	滋賀	アヤハ 自動車教習所	975.5
2	27	片山 昌昭	京都	山城田辺 自動車学校	962.0
3	6	黒岩 寛	埼玉	レインボーモータースクール 和光	950.0

(向かって左二人目から 1位/河端氏・2位/片山氏・3位/黒岩氏)



撮影・平尾出版/久保田

「四輪部門」

● ブレーキング

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	36	岡市 幸芳	大阪	大阪香里 自動車教習所	1000.0
2	20	平野 敦之	富山	黒部 自動車学校	985.0
3	25	吉田 寿雄	京都	デルタ自動車四条 教習所	965.0

(向かって左二人目から 1位/岡市氏・2位/平野氏・3位/吉田氏)



撮影・平尾出版/久保田

「四輪部門」

● 縦列駐車・車庫入れ

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	23	河端 淳史	滋賀	アヤハ 自動車教習所	1000.0
2	10	宮澤 輝憲	長野	ドリームモータースクール 昭和校	832.0
3	27	片山 昌昭	京都	山城田辺 自動車学校	830.0

(向かって左二人目から 1位/河端氏・2位/宮澤氏・3位/片山氏)



撮影・平尾出版/久保田

「四輪部門」

● コーススラローム

順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属	得点
1	6	黒岩 寛	埼玉	レインボーモータースクール 和光	1000.0
2	23	河端 淳史	滋賀	アヤハ 自動車教習所	997.0
3	4	関 貴博	東京	金町 自動車教習所	919.0

(向かって左二人目から 1位/黒岩氏・2位/河端氏・3位/関氏)



撮影・平尾出版/久保田

「全指連表彰」（社団法人・全日本指定自動車教習所協会連合会）

今回（第11回）から、社団法人・全日本指定自動車教習所協会連合会の後援をいただき、各部門の総合成績において優れた選手に対して、別途、吉田専務理事より、表彰がおこなわれました。

表彰部門	順位	ゼッケン	氏名	都道府県	所属
二輪部門	総合優勝	20	安岡 丈仁	愛知	岡崎自動車学校
	準優勝	49	久永 隆一	山口	早鞆自動車学校
大型二輪部門	総合優勝	16	林 勇樹	滋賀	アヤハ水口自動車教習所
四輪部門	総合優勝	23	河端 淳史	滋賀	アヤハ自動車教習所
	準優勝	25	吉田 寿雄	京都	デルタ自動車四条教習所

写真・向かって左から

- 全指連／吉田専務理事
- 二輪部門総合優勝／安岡氏・準優勝／久永氏（赤色ゼッケン）
- 大型二輪部門総合優勝／林氏（緑色ゼッケン）
- 四輪部門総合優勝／河端氏・準優勝／吉田氏（青色ゼッケン）



撮影・平尾出版／久保田